

平安宮は大(だい)内(だい)裏(り)とも称し、国政・儀式・年中行事などを行なう宮殿や諸官(かん)衙(が)(役所建物)と天皇に関わる生活空間からなり、今日の東京の皇居と霞(かすみ)ヶ(が)関(せき)界(かい)隈(わい)に点在する役所を合わせたようなものである。その規模は南北約 1.4km、東西約 1.2km あり、周囲は築(つい)地(じ)や堀(ほり)地(ち)(犬(いぬ)走(ばしり))・隍(ほり)(濠(ほり))で厳重に囲み、14 の門があった。

平安宮の正門の朱(す)雀(ざく)門(もん)を入ると応(おう)天(てん)門(もん)を持つ朝堂院(ハ(はつ)省(しょう)院(いん))があり、この正殿が大極殿である。東西 9 間、南北 2 間の母(も)屋(や)の 4 面に庇(ひさし)を持ち、4 周に朱(しゆ)欄(らん)をめぐらせ、屋根は緑(りよく)釉(ゆう)瓦(が)で縁取られ、大棟には 1 対の鴟(し)尾(び)がのる平安宮最大の建物である。床は埴(せん)敷(じ)きで母屋中央に玉(ぎよく)座(ざ)の高(たか)御(み)座(くら)が置かれる。斎(さい)宮(ぐう)が伊勢下(げ)向(こう)に際して、大極殿において天皇から「別れの御(お)櫛(ぐし)」を額(ひたい)に挿(さ)してもらうが、『源氏物語』「賢(さか)木(き)」でも朱雀帝が斎宮(後の秋(あき)好(このむ)中(ちゅう)宮(ぐう))に別れの御櫛を挿す描写がある。

大極殿は、安元 3 年(1177)の大火後は再建されず、大極殿での儀式は内裏の紫(し)宸(しん)殿(でん)へ移った。朝堂院の西には饗(きょう)宴(えん)施設である豊(ぶ)楽(らく)院(いん)、北東には天皇の居所である内裏がある。そのほか平安宮内には、2 官 8 省をはじめとする政治を掌(つかさど)る官衙が建ち並び、内裏の西には宴(えん)の松(まつ)原(ばら)と呼ぶ空閑地があった。

大極殿の発掘調査では、南辺と東軒(こん)廊(ろう)跡、昭(しょう)慶(けい)門(もん)に取り付く東側回廊跡の凝(ぎよう)灰(かい)岩(がん)の基(き)壇(だん)石(いし)などが検出され、その成果から現在の「大極殿遺蹟の碑」は、大極殿の北にあった昭慶門の西側回廊の上に立っていることが判明している。平成 20 年 3 月 京都市

\* 説明版より



0001\_公園中央から四方



0002\_公園中央から四方



0003\_公園中央から四方



0004\_公園中央から四方



0005\_公園中央から四方



0006\_公園中央から四方



0007\_公園中央から四方



0008\_公園中央から四方



0009\_公園中央から四方



0010\_公園中央から四方



0011\_公園中央から四方



0012\_公園中央から四方



0013\_公園中央から四方



0014\_千本通り・大極殿の前



0015\_千本通り・大極殿の前



0016\_千本通り・大極殿の前



0017\_千本通り・大極殿の前



0018\_千本通り・大極殿の前



0019\_千本通り・大極殿の前



0020\_千本通り・大極殿の前



0021\_千本通り・大極殿の前



0022\_千本通り・大極殿の前



0023\_千本通り・大極殿の前



0024\_千本通り・大極殿の前



0025\_千本通り・大極殿の前



0026\_千本通り・大極殿の前



0027\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0028\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0029\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0030\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0031\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0032\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0033\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0034\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0035\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0036\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0037\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0038\_千本通り・石碑から西へ少し入った所



0039\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0040\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0041\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0042\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0043\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0044\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0045\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0046\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0047\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0048\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0049\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0050\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0051\_千本通・大極殿の北側・離れた所



0052\_南端道路



0053\_南端道路



0054\_南端道路



0055\_南端道路



0056\_南端道路



0057\_南端道路



0058\_南端道路



0059\_南端道路



0060\_南端道路



0061\_南端道路



0062\_南端道路



0063\_南端道路



0064\_南端道路



0065\_南端道路



0066\_滑り台上から四方



0067\_滑り台上から四方



0068\_滑り台上から四方



0069\_滑り台上から四方



0070\_滑り台上から四方



0071\_滑り台上から四方



0072\_滑り台上から四方



0073\_滑り台上から四方



0074\_滑り台上から四方



0075\_滑り台上から四方



0076\_滑り台上から四方



0077\_石碑の祭壇



0078\_石碑の祭壇



0079\_石碑の祭壇



0080\_石碑の祭壇



0081\_石碑の祭壇



0082\_石碑の祭壇



0083\_石碑の祭壇



0084\_石碑の祭壇



0085\_石碑の祭壇



0086\_石碑の祭壇



0087\_石碑の祭壇



0088\_石碑・説明版



0089\_石碑・説明版



0090\_石碑・説明版



0091\_石碑・説明版



0092\_石碑・説明版



0093\_説明版



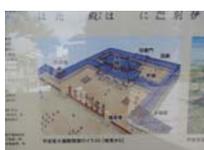
0094\_説明版



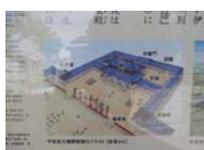
0095\_説明版



0096\_説明版



0097\_説明版



0098\_説明版



0099\_説明版



0100\_説明版



0101\_説明版



0102\_説明版



0103\_説明版



0104\_説明版



0105\_説明版



0106\_説明版